

令和7年度 アウトリーチ事例検討会

～医師がアウトリーチし大まかに診立てることで、膠着している事例を動かす～

日 時

令和7年11月26日（水）19:00～21:00

開催方法

オンライン（Zoom）開催

参加費

無料

オンライン環境がない等の理由で、会場での参加を希望される場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

事例報告

座長：松戸市医師会 在宅ケア委員会担当理事 星野 大和

事例1：ライフラインが停止したり外出中に警察に保護されたことがある80歳代女性

地域サポート医が認知症と診断し、速やかに主治医意見書を記載することで介護保険サービスが開始された事例

報告者：

本庁地域包括支援センター
あおぞら診療所

社会福祉士 佐藤 紫
医師 沼沢 祥行

事例2：慢性閉塞性肺疾患の治療歴があるが受診中断していた70歳代男性

受診中断の背景にある本人のナラティブを把握し、増悪予防や苦痛緩和を目的とした診療について粘り強く説得することで継続診療につながった事例

報告者：

明第2東地域包括支援センター
あおぞら診療所

社会福祉士 井戸 未央
医師 住谷 智恵子

事例3：ゴミ屋敷の中で衰弱著しい状態で覚知された病態不明の50歳代男性

悪性腫瘍、精神疾患の合併、退職、コロナ禍などが重なり受診中断、セルフ・エグレクト状態にあったが、厳重モニタリング中に本人が出したSOSを捉え訪問診療に移行した事例

報告者：

地域包括ケア推進課
健康推進課
石島医院

保健師 山本 一美
保健師 長谷川 純子
医師 石島 秀紀

事例4：半年間で10kg体重が減少した70歳代女性

地域包括支援センターから訪問診療を依頼された地域サポート医が、精神科の診立てが緊急に必要と判断し、精神科専門アウトリーチを経て医療保護入院となった事例

報告者：

明第2東地域包括支援センター
在宅医療・介護連携支援センター

社会福祉士 齋藤 奈津子
医師 北田 志郎

総 括

松戸市医師会 会長 川越 正平

申し込み方法

令和7年11月20日までに右のQRコードからお申込みください。
(<https://matsudo-zaitaku.org/>)

問い合わせ先

松戸市在宅医療・介護連携支援センター
電話 047-701-7533 FAX 047-701-7535

